

清瀬市教育委員会では、生きること喜びを見出し、自らの命を大切にするとともに、他者の生命も同様に尊重する心を育むことを目的として、「命の教育」を推進しています。

清瀬市立学校では、年間２回（２学期と３学期開始時の１週間）を、命の教育の一環として「命の週間」を位置付け、自他を尊重する教育等について取り組んでいます。

令和８年度、２学期の本校の取組についてご紹介します。

主な取組	具体的な内容	○学年、教科等との関連、外部との連携等 ・成果、課題、今後の取組等
二者面談	夏休み明け全学級で、児童と担任とで二者面談を実施する。	二者面談でチェックする点を共有したうえで取り組むことで、効果を上げることができた。
道徳授業実施	いのちの大切さに関わる授業を全学級で実施する。	児童が命の大切さについて考える時間を設定することで自他の生命を尊重する気持ちを育てる。
いのちの大切さを感じられる音楽の放送	事前アンケートで募集した音楽を、給食の時間に放送する。	児童自身が選曲したことで、いのちについて主体的に考え、音楽や歌詞を味わうことができた。